

2022/08

ディスパロン® 6650

(非水系塗料用粉末状増粘・ダレ止・沈降防止剤)

ディスパロン® 6650は脂肪酸アמידワックスを主成分とする粉末状チクソ剤です。系中で加温分散することで活性化し、強力な網目構造を形成することで、塗料に増粘性、ダレ防止性、沈降防止性等の機能を付与します。

性状 (納入規格ではありません)

| | |
|-----|--------------------|
| 外観 | 白色～微黄色微粉末 |
| 粒子度 | 約 15 μm |
| 融点 | 122°C |

特長

- ・有効成分率 100%の粉末
- ・幅広い活性化条件で安定した効果を発揮
- ・強力な増粘・ダレ防止性を付与可能
- ・良好な上塗り性

用途

- ・合成樹脂塗料全般に使用可能で、特に船舶塗料や重防食塗料等の溶剤系エポキシ/アクリル塗料に最適です。

使用方法

- ・粉末状チクソ剤の使用には活性化が必要です。通常、樹脂やフィラーと共に適切な条件で分散することで活性化させます。
- ・活性化時の分散条件（せん断力、温度、分散時間）によって粉末状チクソ剤の性能は変化しますので、御使用の際には実際の系での十分な御確認をお願い致します。
- ・分散機はサンドミルやハイスピードディゾルバーなど、せん断と温度が同時に加えられるものが適切です。
- ・標準添加量は塗料全配合に対し 0.5～3.0wt%です。ただし、前述の添加量は目安であり、使用目的により最適添加量が標準添加量の範囲外となることもあります。実際に試験を行った上、最適添加量をご検討願います。
- ・標準分散温度は 50～70°Cです。（塗料配合によって適切な温度域は異なります。）
- ・アルコール（例：ブタノール）が配合された塗料では適切な活性化温度が下がります。分散温度が上げられず活性化が難しい場合は、アルコールを 1～2%程加えることで活性化を促進することができます。
- ・分散不良を防ぐため、攪拌している塗料への添加を推奨します。
- ・活性化後は静置冷却を推奨します。攪拌冷却の場合は網目構造の形成が妨げられ、所定の効果が得られない場合があるので注意が必要です。
- ・尚、上塗り性につきましては当社で考えられる塗料系で試験を行っておりますが、御使用の際には実際の系での十分な御確認をお願い致します。

この製品の使用に関する当社の情報は信頼し得ると考えられるデータに基づくものですが、内容につきまして確たる保証をするものではありません。製品の使用条件については弊社が制御出来ないからです。全ての製品は御需要家各位で適性を試験された上御利用頂くと共に全ての不注意や不適切な取扱いによる損害への補償は致しかねます。尚、安全性や取扱い方法についての詳細な内容が必要な場合には安全データシート(SDS)を御参照下さい。また本製品の御使用に当たっては御需要家各位で現存する特許権に抵触しない事を調査して頂く様お願い致します。

© 1996-2022 All Rights Reserved By Kusumoto Chemicals, Ltd.